

クリアな画質の多機能ドライブレコーダー

**Quad HD**  
1440P 27.5fps

**GPS**  
BUILT IN

# **MIRUMO® eye**

## DRC-310 取扱説明書



### ご購入のお客様へ

この度は、弊社の商品をご購入していただきまして、誠にありがとうございます。  
ご使用の際には本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使い下さい。  
又、お読みになった後は、保証書と共に大切に保管して下さい。

**ご使用前に、「安全上のご注意」・「ご使用上のご注意」を  
必ずお読みください。**

*Japan Electric Service*

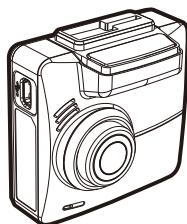
ご使用の前に、「安全上のご注意」「使用上のお願い」「取り付け方」を必ずお読みください。

この度は、ドライブレコーダーDRC-310をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

## ▶ パッケージの内容

パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

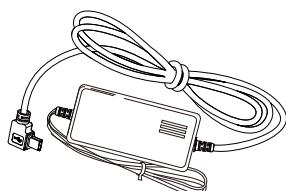
● ドライブレコーダー本体



● ブラケット



● 電源アダプター



● クイック スタート ガイド  
(保証書)



# もくじ

安全上のご注意	4
ご使用上のお願い	6
各部の名称	8
ドライブレコーダーの取り付け方	9~12
メモリーカードの挿入	10
メモリーカードの取り出し	10
本体の取り付け	11
フロントガラスへの取り付け	11
ドライブレコーダー本体の位置調整	11
電源への接続	12
本製品の電源オン/オフ	13,14
自動電源オン/オフ	13
手動電源オン/オフとリセット	13
LEDインジケーター	14
バッテリーアイコン	14
初期設定	15
日付/時間の設定	15
衛星同期の設定	15
ビデオ録画	16~19
録画画面	16
自動録画	17
解像度の設定	17
緊急録画	18
静止画の撮影	19

# ► もくじ

安全運転支援機能	20~29
不点灯警告	21
居眠り防止案内	21
LDWS(車線逸脱警告システム)	22
FCWS(前方衝突警告)	23
FCMD(前方車両移動検知)	24
衝突検出	25
駐車モード	26
オービス警告	27
制限速度警告	28
機能チャート画面	29
オービスカメラ位置追加設定	29
ファイルの再生	30~33
ビデオ再生	30
画像の表示	31
再生画面	32
ファイルの削除	33
設定メニュー	34~36
再生ソフト(SuperCar)インストール	37
SuperCar(PCビューアー)	38
GPSデータの更新について	39
仕様	40

# ▶ 安全上のご注意

\*必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。《危害や損害の程度を区分して、説明しています。》

- 表示内容を無視して誤った扱い方をしたときに生じる損害の程度を次の表示で区分し、説明していきます。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明していきます。



## 実行

「必ず実行してください」強制です。



## 禁止

「してはいけない内容」禁止事項です。



## 警告

## 安全上のご注意

- 内部に異物が入った・水に浸かった・煙が出ている・変な臭いがする等の場合 はすぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ブラケットおよびドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付けてください。(事故の原因となる場合があります。)
- 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして発煙・発火等の原因となります。
- 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様、または持病をお持ち物お客様、妊娠されているお客様等は、医療用機器または体への影響を担当医師にご確認ください。
- シガーアダプターコード(12V／24V 車対応)はマイナスアース車専用です。(プラスアース車に使用すると、火災や故障の原因となります)
- シガーアダプターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱により発煙・発火等の原因となります。
- エンジンを止めてもシガーアダプターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガーアダプターコードを抜いてください。(バッテリー上がりの原因になります。)
- コード類を傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。
- シガーアダプターコードを抜くときは、コード部分を引っ張らないでください。コードが損傷し、感電やショートによる発煙・発火等の原因となります。
- 運転者は走行中に画面を注視及び操作しないでください。前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。





- ヒューズは必ず指定の物を使用してください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱により発煙・発火等の原因となります。
- microSDHC カードおよびその他の付属品等は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
- 本製品の本体および付属品を分解または、修理しないでください。感電や故障の原因となります。点検や修理は販売店にご依頼ください。
- 本製品を直射日光が当たる場所や暖房器具の近く等、温度が非常に高い所・湿気やほこりの多い所・油煙の多い所に保管しないでください。変形・変色等を伴う故障の原因になります。
- 本製品を電子レンジ、オーブン等で、加熱したりしないでください。破裂、発火や火傷の原因となります。
- 穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- 本製品や付属品の各端子部に異物が入らないように、注意ください。故障の原因となります。
- 本製品や付属品を濡れた手で触れないでください。感電等の原因となります。
- 落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウム電池に異常をきたし、発煙・発火等の原因となります。
- リチウム電池は消耗品です。充電してもバックアップ機能やリチウム電池による動作がしなかった場合はリチウム電池の寿命が考えられますのでご使用をやめてください。破裂・漏液・発煙・発火等の原因となります。リチウム電池を交換する際は販売店にご依頼ください。
- 水や海水、その他の液体がかからないように使用してください。リチウム電池等の破損により破裂・漏液・発煙・発火等の原因となります。
- 車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしないでください。車両の安全装置(カメラ・レーダー等)などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因になります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしないでください。エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本製品や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。
- 視界や運転を妨げる場所、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やけがの原因となります。
- コード類は、運転を妨げないように引き回してください。ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル等に巻きつくと、交通事故や故障の原因となります。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告・前方車両移動検知・不点灯警告は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。

# ご使用上のご注意



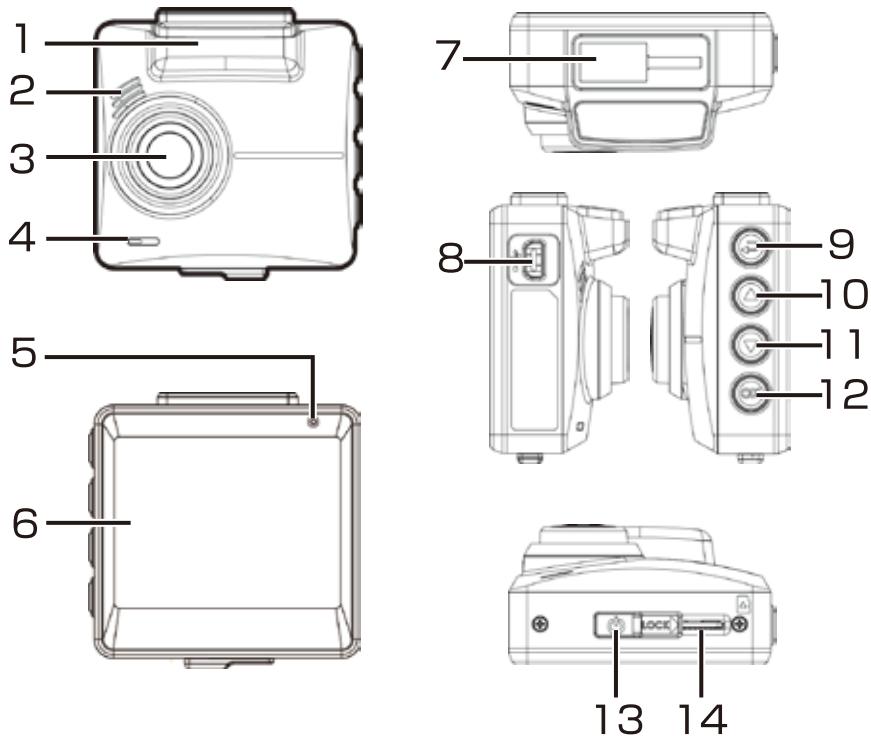
- 本製品は microSDHC メモリーカードを挿入してからご使用ください、メモリーカードなしではご使用できません。
- 本製品で録画した画像は、事故等の証拠効果を保証するものではありません。
- 自動録画は記録を繰り返していますが、全ての場合で録画を保証するものではありません。また事故等の際の記録を保証するものではありません。(保存できない場合もあります)
- 本製品を業務用(バス・トラック・タクシー・商用車等)で使用した場合は保証規定に入りません。
- 本製品の故障や使用状況によって生じた損害、microSDHC のデータ破損、それによる損害について弊社は、一切その責任を負いません。
- 本製品は日本国内のみで使用できます。
- テレビアンテナ、GPS アンテナの近くには取付けないでください、受信障害になる可能性があります。
- 本製品のオービスポイント案内は取締りの有無を案内するものではありません、オービスの場所を案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- 車線逸脱警告・前方衝突警告・前方車両移動検知・不点灯警告は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません。道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。
- 本製品を本来の目的以外で使用しないでください。使用方法によってはプライバシーなどの権利を侵害したり、個人情報保護法に抵触する恐れがありますのでご注意ください。これらの場合について、弊社は一切その責任を負いません。
- 事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSDHC カードを抜いて保管してください。
- 本製品の衝突検知、動体検知、衝撃検知はそれらの検知を保証するものではありません。
- microSDHC カードは電源スイッチを OFF にして画面が完全に消えてから抜いてください。microSDHC カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSDHC カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSDHC カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDHC カード内に本製品以外のデータを入れないでください。





- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみ等が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- LED式信号機やLED表示装置は高速点滅しているので、点滅して撮影される場合がありますが、異常ではありません。
- 逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品の保証対象は本体のみになります、microSDHCカードや内蔵バッテリー、その他の付属品は保証対象外となります。
- 安定してご使用いただくため、定期的(1週間に1回程度)にmicroSDHCカードを本製品の設定メニューからフォーマットすることをお勧めします。
- microSDHCカードはその特性上、データを書き込める回数に制限(寿命)がありますので1年前後を目安に新品と交換することをお勧めいたします。また使用状況により寿命が短くなることがあります。
- 本製品のレンズに指で触れないでください。指の脂がレンズに残り、ビデオ画像やスナップショット画像が不鮮明となる場合があります。
- 液晶ディスプレイは99.99%以上の有効な画素がありますが、一部点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありません。
- 液晶ディスプレイは周囲の温度が約75°C以上または約-10°C以下になると画像が通常と異なる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの特性であって故障ではありません。温度が安定すると元の状態に戻ります。
- 本製品を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。
- フロントガラスが鉄粉入りの熱反射ガラスやメタリックフィルム等を装着している場合は、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離、ポイント案内、などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によっては、表示しない場合や実際とは異なる場合があります。
- GPS位置測定の精度は天候や高層建築、トンネル、地下、森林などの場所によって変わることあります。
- 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品や付属品の故障および点検等にともなう脱着費用、レンタカ一代、電話代、商業損失等につきましては保証期間内・外を問わず一切その責任を負いません。
- シガーライターコードの接続は分岐ソケット等を使用すると電圧の低下により、誤動作の恐れがありますので、分岐ソケット等は使用せず、車両のソケットに直接、本製品のプラグを差し込んで使用してください。
- 電源の接続は確実に行ってください、(2A以上を確実に供給できる場所)不確実な接続や接続場所が悪いと電圧の低下や変動により誤動作の恐れがあります。

# ▶ 各部の名称

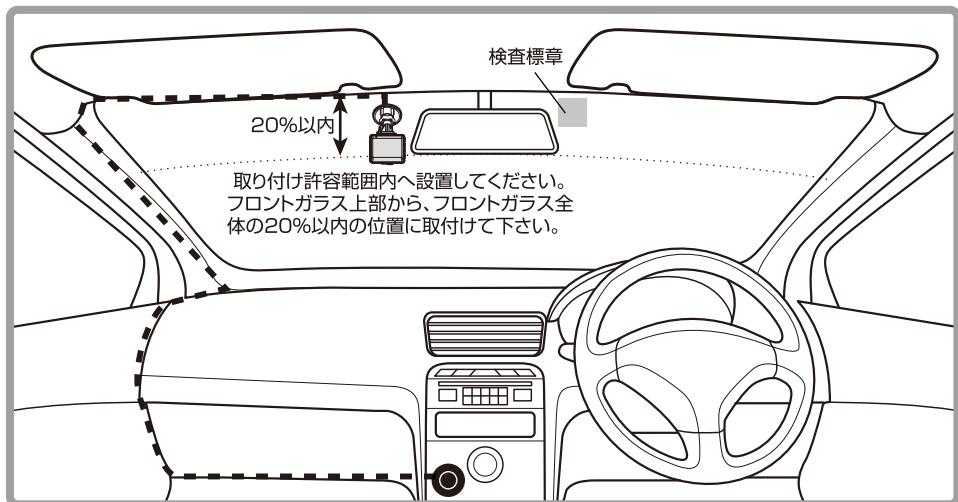


## 各部の名称

1	GPSアンテナ	8	USB/電源コネクター
2	スピーカー	9	⇢ (戻る) ボタン
3	広角レンズ	10	▲ (上) ボタン
4	マイクロフォン	11	▼ (下) ボタン
5	LEDインジケーター	12	OK ボタン
6	LCDパネル	13	電源スイッチ
7	ブラケットソケット	14	メモリーカードスロット

性能を十分発揮するために、下記を守って取り付けてください。

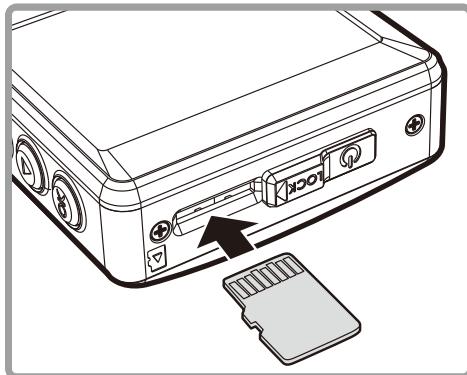
- フロントガラスへの取り付けは、保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より 20% 以内のルームミラーと干渉しない場所に設置してください。
- 検査標章などと重なったり、検査標章などが映らないように取り付けてください。
- 鮮明に録画を行うためにワイパーの稼動範囲に設置することを推奨いたします。
- 地デジや ETC 等のアンテナ近くには設置しないでください。
- 本製品の近くに GPS 受信機能を持つ製品等を設置しないでください。
- フロントガラスのセラミックラインなどが映らないように、取り付けてください。
- 車両安全装置やブレーキアシストシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて、取り付けてください。
- 本機の LED ランプが確認でき、microSDHC メモリーカードを挿入 / 取り出しできる位置に取り付けてください。
- 車両装備品(エアバッグ、その他装備)の動作を妨げないように、取り付けおよび、配線を行ってください。



### メモリーカードの挿入

図のように、メモリーカードの金色の部分を本機の画面側に向けた状態でカードを挿入します。カチッという音がするまで押し込んでください。

※本機はメモリーカードが挿入されないと動作しません。必ずメモリーカードを挿入の上、操作をお願い致します。



### メモリーカードの取り出し

メモリーカードをもう一度押すと、カードがスロットから取り出せます。

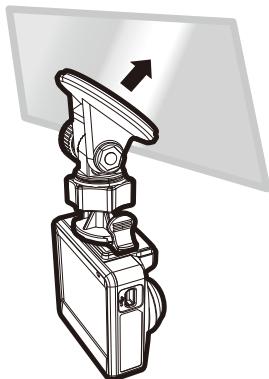
#### ⚠ 注意

- 本製品の電源がオンになっている時は、メモリーカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモリーカードが損傷することがあります。
- microSDHC規格のメモリーカード（Class10以上16GB～32GB）を使用してください。
- 初めて使用するときは、P34『メニューの使用』、P36『メニュー項目』の「フォーマット設定」を参照の上、マイクロSDカードをフォーマットしてください。
- メモリカードを取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないように注意してください。

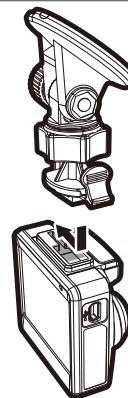
## 本体の取り付け

- 付属のブラケットを本機に取り付けます。

カチッという音が聞こえるまでブラケットホルダーに差し込みます。



- ブラケットの接着面を、フロントガラスの取り付ける位置に軽く当てます。

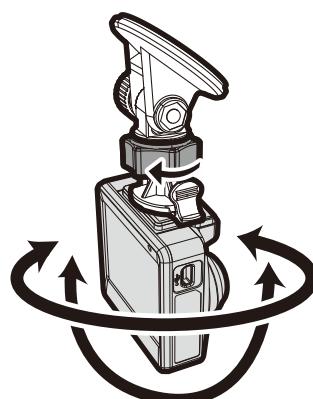


- フロントガラスにブラケットの接着面を押し付けてしっかりと固定します。

## ドライブレコーダー本体の位置調整

- ノブを緩め、本機を垂直または水平方向に回転させ撮影範囲を調整します。

- ノブを締め、ドライブレコーダーがしっかりと所定の位置で固定されていることを確認します。



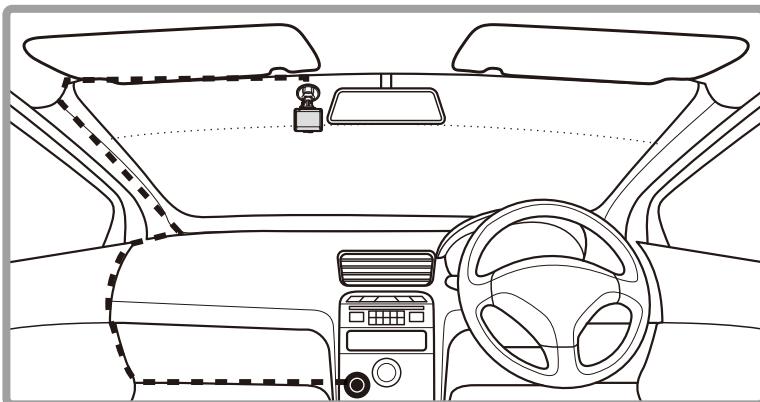
## ⚠ 注意

本機はルームミラー付近のフロントガラスの中心に取り付けると最適な視界が得られます。車両装備品の動作や運転の妨げにならない位置に取り付けおよび配線を行ってください。

## 電源への接続

## シガーライターコードの場合

車両のシガーライターソケットに差し込みます。エンジンを始動(ACC)すると、本機の電源が自動的に入ります。 シガーライタープラグ入力: DC 12/24V



## 直結用電源コードの場合

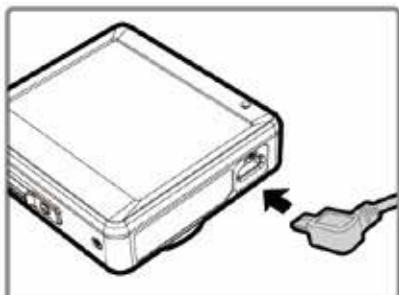
配線の接続には、同梱のエレクトロタップをご使用下さい。

赤線:ACC線へ接続  
黒線:GND線へ接続

赤線:ACC線へ接続

黒線:GND線へ接続

配線取り付け後、電源コードの一方の端を本機の USB/ 電源コネクターポートに接続します。  
USB ポート入力: DC 5V / 1A



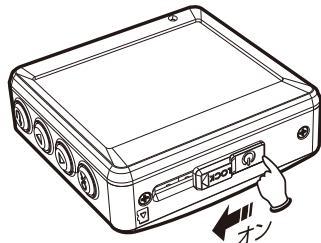
## 自動電源オン / オフ

エンジンを始動(ACC)すると、本製品の電源が自動的に入り録画・録音を開始します。

## 手動電源オン / オフとリセット

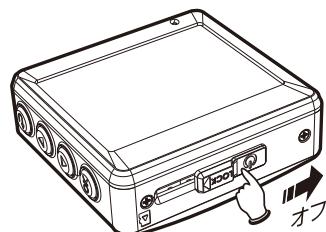
### 手動電源オン

電源スイッチを左にスライドすると電源が入ります。  
電源スイッチがメモリカードスロットの上で固定されていることを確認して下さい。



### 電源オフ

電源スイッチを右にスライドすると、電源をオフする動作を開始します。メモリーカードにデータを保存後に自動的に画面が消えて電源オフの状態になります。



### リセット

何らかの原因により本製品が通常どおりに機能しなくなった場合、電源スイッチを右にスライドして、電源をオフにし、その後約 7 秒経過後に電源スイッチを左にスライドし、再起動して下さい。

### ⚠ 注意

画面点灯中はメモリーカードの取り出しあは行わないでください。録画ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。

# ▶ 電源のオン/オフ

2 / 2

電源が入ると LED インジケーターの状態が変化し、動作状況を確認する事ができます。

## LED インジケーター



ステータス説明	LED インジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー完全充電状態	LED点灯なし
電源オン、バッテリー充電中	赤
電源オン、バッテリー完全充電状態	緑
待機／待機で画面オフ	緑
録画中／録画中に画面オフ	赤で点滅

## バッテリーアイコン

アイコン	説明
	バッテリーが完全に充電されている状態です。
	バッテリーが 2/3が残っています。
	バッテリーが 1/3が残っています。
	バッテリーの残量がありません。
	バッテリーは充電中です。
	電力が供給されているとき表示されます。

### ⚠ 注意

使用環境温度が45°C以上の場合、電源アダプターから本製品に電源を供給し続けることができますが、内蔵バッテリーには充電できません。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。

# 初期設定

本製品を使用する前に、正しい日付/時間設定と自動録画・録音設定をすることを推奨します。

## 日付 / 時間の設定

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**日付/時間設定**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して値を調節し、◎ボタンを押して次のフィールドを設定します。
- ステップ3を繰り返して日付と時間の設定を完了します。
- ◁ボタンを押してメニューを終了します。



## 衛星同期の設定

衛星同期を設定するには、以下の手順に従ってください。

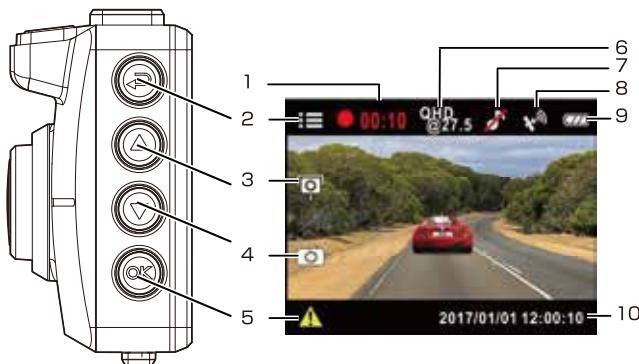
- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**衛星同期**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して【オン】を選択し、◎ボタンを押します。
- ◁ボタンを押してメニューを終了します。



### ⚠ 注意

- 衛星同期がオンの場合、本製品の時刻は、衛星の時刻信号により自動調整されます。
- 工場出荷ではGPS同期に設定しています。その場合はGPSを受信すると、現在の日付と時間が自動で設定されますので、時刻あわせは不要になります。
- 初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまでに20分以上時間がかかる場合があります。測位の状態は、画面右上のGPSアイコンで確認できます。

## 録画画面



番号	アイコン	項目	説明
1	● 00:10	録画時間	録画時間を表示します。
2	☰	メニュー ボタン	メニュー画面を表示します。 3秒間押し続けると、機能チャートを表示します。
3	⌚	カメラ位置 追加ボタン	▲ ボタンでカメラ位置を追加します。
4	📷	静止画 ボタン	▼ ボタンで静止画を撮影します。
5	⚠	緊急録画 ボタン	OK ボタンで手動緊急録画を開始します。
6	QHD @27.5	解像度 アイコン	ビデオの解像度を表示します。
7	🎙	音声録音 アイコン	音声録音がオフの時に表示します。 オンの時は表示されません。
8	📡	GPS アイコン	GPS の測位が出来ている場合は、「📡」アイコンが画面に表示されます。 「📍」アイコンが表示された場合は GPS の測位が完了していません。
9	🔋	バッテリー アイコン	電池残量またはバッテリーの充電状況を表示します。
10	2017/01/01 12:00:10	日付と時間	現在の日時を表示します。

## 自動録画

ドライブレコーダーが自動車からの電源に接続されており電源スイッチが左にスライドされている場合、自動車のエンジンがかかると装置は自動的にオンになり、録画を開始します。エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します

### ⚠ 注意

- 一部の自動車ではエンジンが始動しても電源供給が自動的にオン／オフにならないことがあります。自動車のエンジンとあわせて機器が自動的に電源オン／オフにならない場合、自動車の電源と機器の電源供給を手動で接続するか、機器を手動でオフにしてからコネクターと自動車の電源供給の接続を解除してください。
- 録画中、3分または1分おきにビデオファイルを保存するように設定できます。設定メニュー内の録画・録音間隔をご覧ください。
- すべてのビデオおよび画像はメモリーカードに保存されます。メモリーカードが一杯になると、録画はループされ、通常は最も古いビデオファイルから上書きされます

## 解像度の設定

解像度の設定を変更するには以下の手順に従ってください。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △ / ▽ボタンを押して解像度設定を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △ / ▽ボタンを押して解像度を設定（1440P 27.5fps / 1080P 55fps / 1080P 27.5fps HDR）し、◎ボタンを押して設定を完了します。
- ◀ボタンを押してメニューを終了します。



※工場出荷時：1440P 27.5fps

## 緊急録画

緊急録画を開始するには、以下のように操作します。

1. ビデオ録画の間、**OKボタン**を押すと緊急録画モードに入り、直後に「**緊急録画**」メッセージが画面上右隅に表示され、録画ファイルが保護されます。
2. 緊急ビデオ録画の長さは録画・録音間隔設定と同じです。緊急録画の長さが設定した値に達すると、システムは通常の録画モードに戻ります。



### ⚠ 注意

- 衝突検出 機能を有効化しているときに衝突が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の定期録画により上書きされないように保護されます。録画・録音間隔時間が 1 分の場合メモリーカードは緊急録画ファイルを 20 ファイルまで保存し、3 分の場合は 10 ファイルまで保存します。
- 緊急録画フォルダが一杯になると「ファイルが一杯です」メッセージが画面に表示されます。これ以降の緊急ファイルは通常ビデオフォルダに保存され、メモリが一杯になると上書きされます。最新の緊急ビデオファイルを保管しておきたい場合は、緊急ビデオフォルダ内の古いファイルを手動で消去してください。

## 静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することができます。

1. 録画中は▽ボタンを押して静止画を撮影します。
2. スクリーンショットが撮影されたことを示す のアイコンが画面中央に表示されます



### ⚠ 注意

スクリーンショットの画像解像度質はビデオ解像度設定により異なります。

安全運転支援機能（不点灯警告・居眠り防止案内・LDWS・FCWS・FCMD・オービス警告・制限速度警告等）はあくまでも参考用であり、簡易的に楽しむための付随的な機能です。必ず実際の道路状況に基づいて走行してください。

## ⚠ 注意

- 安全運転機能が同時に発することができる警告は2種類までです。音声および警告メッセージが同時に発された場合は、どちらかの警告が対処されるまで他の警告は無視されます。
- オービス警告、オービス追加設定、制限速度警告、LDWS（車線逸脱アラート）、FCWS（車間距離アラート）などの機能を有効化する前に衛星位置測定が完了している必要があります。製品のご使用前に衛星による車両位置の特定が完了しているか確認してください。
- LDWS（車線逸脱アラート）、FCWS（車間距離アラート）、FCMD（前方車両発進アラート）の検知は、雨天や夜間などの暗い環境では不正確になる場合があります。ドライバーが、実際の道路状況に基づいて、判断するようにしてください。

## 不点灯警告

録画画像を認識して、夜間やトンネル等の暗い場面で警告音と画面表示にてヘッドライト点灯の案内をいたします。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**不点灯警告**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. <□ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オフ

## 居眠り防止案内

録画開始 1 時間後、および、その後 30 分毎に警告音と画面表示でお知らせします。

居眠り防止案内を設定するには、次のように操作します。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**居眠り防止案内**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューを開きます。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. <□ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オフ

## LDWS(車線逸脱警告)

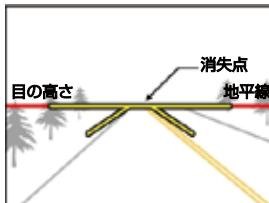
時速 70km/ 時以上の速度で走行中に車線を変更する際、画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押してLDWSを選択し、続いて□ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押してオンを選択し、□ボタンを押して機能を有効にします。
- ◁ボタンを押して録画画面に戻ります。
- LDWSを有効にすると、通常画面にて、位置あわせのアイコン  が表示されます。位置あわせのアイコンが下図のようになるようにドライブレコーダーの角度を取付け時に調整してください。



※工場出荷時：オフ



### ⚠ 注意

- LDWS（車線逸脱警告）は、GPSが測位状態でのみ動作します（トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません）。
- LDWS（車線逸脱警告）は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。
- ドライバーの視界を遮らないようにバックミラーの下に設置します（フロントガラスの中央上部）ビデオ画面に空と地面が 50% ずつ映るようドライブレコーダーを調整し、位置合わせアイコンを車線と揃えてください。機器が最大限の効果を発揮し、LDWS（車線逸脱アラート）の精確性を高めるには、正しい設置が不可欠です。
- 位置合わせアイコンが他の物体（ポンネットなど）に遮られないよう注意してください。

## FCWS(前方衝突警告)

時速 60 km/h以上の速度で走行中に、前方の車両との距離が 15m 以下に近づいた時に警告音と画面表示でお知らせします。設定は以下の手順で行います。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**FCWS**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
4. ◄ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オフ

### ⚠ 注意

- FCWS(前方衝突警告)は、GPS が測位状態でのみ動作します(トンネル等で GPS が測位できない場合は動作しません)。
- FCWS(前方衝突警告)は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に関して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

## FCMD(前方車両移動検知)

20秒間以上停止すると前の車両の動きの検出を開始します。前の車両の動きによりカメラ内の画像が変化した時、警告音と画面表示でお知らせします。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**FCMD**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
- ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オフ

### ⚠ 注意

- FCMD(前方車両移動検知)は、GPSが測位状態でのみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は動作しません)。
- FCMD(前方車両移動検知)は撮影画像により簡易的に行っている楽しむための付随的な機能になりますので、安全運転をアシストする機能ではありません、道路状況や天候・走行状態・設置状態等によって誤動作や動作しない場合があります。これらの機能が動作したか否かに関わらず、事故・怪我・死亡事故等に關して一切その責任を負いません。
- 天候や路面状況、走行状態、設置状態等によって、案内をしない場合や意図しない場面で案内をする場合がありますが、故障ではありません。

## 衝突検出

衝突検出機能が有効な場合、衝突が検出されると機器は緊急録画を開始します。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**衝突検出**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して、機器の衝突検出感度（高感度/標準感度/低感度/オフ）を変更します、◎ボタンを押して設定を完了します。
- ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：標準感度

### ⚠ 注意

緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の定期録画により上書きされないように保護されます。録画・録音間隔時間を1分に設定している場合、メモリーカードは緊急ビデオファイルを20個保存できます。録画・録音間隔時間が3分の場合は、緊急ビデオファイルは10個保存できます。緊急録画ファイルが一杯になると、「緊急ファイルが一杯です」という警告メッセージが画面に表示されます。新しい緊急録画ファイルが作成されると通常ビデオフォルダに保存されますが、このフォルダのファイルはメモリがいっぱいになると上書きされます。そのため、直近の緊急ビデオファイルを保存したい場合は、緊急ビデオフォルダの最も古いファイルを手動で削除し、容量を確保してください。

## 駐車モード

駐車時に車両を監視するには、「振動検知」または「動体検知と振動検知」を有効にします。

設定は、以下の手順で行います。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**駐車モード**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して駐車モードを設定（振動検知/動体検知とGセンサー/オフ）し、◎ボタンを押して設定を完了します。



## 振動検知

※工場出荷時：オフ

エンジンが停止(ACC オフ)後、「10秒待つと振動検知に入ります。というメッセージが表示され、60秒後に振動検知モードに入ります。

車両(本製品)に振動が与えられたことを本製品が検出すると、60秒間ビデオが録画され、録画が保護されます。

(録画ファイルは「parking」のフォルダーに保存されます)

このモードでは、振動が検出されるまでドライブレコーダーはオフとなります。

## 動体検知と振動検知

エンジンが停止(ACC オフ)後、「10秒待つと振動検知に入ります。というメッセージが表示され、30秒後にLCD画面がOFFとなり動体検知と振動検知モードに入ります。

動体検知と振動検知モードでは、カメラが動体を検出したり、機器が衝突を検出した場合、録画を自動的に開始します。

本製品の録画範囲内の画像に何らかの動きを検出すると、10秒間ビデオが録画され、さらにその録画中に何らかの動きを再度検出した場合は、さらに10秒間録画を延長し最大2分間まで録画します。

(録画ファイルは「parking」のフォルダーに保存されます)

このモードでは、動体や衝突が検出されるまでドライブレコーダーはスタンバイモードとなります。このモードでは内蔵バッテリー消費率が高くなります。

## ⚠ 注意

1. バッテリーが完全に充電され良好な場合、動体検知は約20分間連続で記録できます。充電状態や録画間隔によって動作時間は異なります。
2. 本製品は使用につれて、徐々にバッテリーの容量が減少していきます。これはバッテリーの特性で、故障ではありません。
3. 駐車モードでの録画は、車両へのイタズラや当て逃げ等の録画を保証するものではありません。

## オービス警告

全国のオービスポイントが登録されています。車両がオービスポイントに近づくと音声および画面で警告を行います。この時、制限速度を超えていると、アラームが鳴り警告画面は赤色に変わり、速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**オービス警告**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューを開きます。
- △/▽ボタンを押して**オン**を選択し、◎ボタンを押して機能を有効にします。
- <▷ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オン



### ⚠ 注意

- オービス警告機能はGPSが測位状態の時のみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)。
- 本製品のオービス案内はオービスポイントの案内を保証するものではありません。また、取締りの有無を案内するものではありません。オービスポイントを案内したか否かに関わらず、違反等に関して一切その責任を負いません。
- 本製品のオービス案内時に表示される制限速度は、当社が独自に調べたものであり、その道路の制限速度を保証するものではありません。また気象状況や規制により制限速度は変わりますので、現地の標識や指示にしたがって安全な運転を行ってください。
- オービス警告時に表示される距離は、GPSの誤差や登録ポイントの場所、走行速度によって、誤差が生じる事がありますが、異常ではありません。
- オービス機能は録画中のみ動作します。スタンバイ時は機能しません。

## 制限速度警告

車両が設定した速度を超えて走行すると、ブザー音および画面表示で速度を落とすように警告します。

設定は、以下の手順で行います。

- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して**制限速度警告**を選択し、続いてOKボタンを押して機能メニューを開きます。
- △/▽ボタンを押して[オフ/50~200 km/h]から制限速度警告を設定し、続いてOKボタンを押して設定を完了します。
- <▷ボタンを押して録画画面に戻ります。



※工場出荷時：オフ



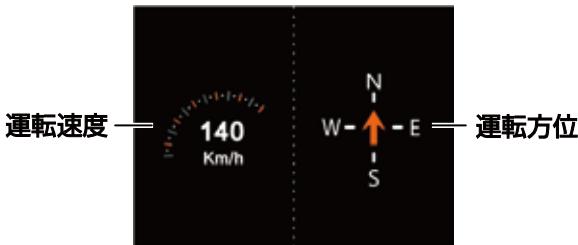
### ⚠ 注意

制限速度警告はGPSが測位状態の時のみ動作します(トンネル等でGPSが測位できない場合は作動しません)。

## 機能チャート画面

録画中に、ボタンを3秒間押すと、機能チャート表示に切り替えて車両情報を確認することができます。

ボタンを再度押すと、録画画面に戻ります。



### ⚠ 注意

GPS衛星信号が受信されていない場合、運転速度、運転方位、はグレー表示になります

## オービスカメラ位置追加設定

ユーザーが任意の場所でオービスカメラの位置を追加登録することができます。

登録したいカメラ位置を通過時に ボタンを押して速度カメラ位置を更新します。

本機ではオービス位置を 200ヶ所まで保存することができます。これを超過して保存を試みると、「位置登録がいっぱいです」メッセージが表示されます。

### ⚠ 注意

- GPSが測位状態でのみ登録ができます。
- 追加登録したオービス位置は、設定メニュー（オービス追加設定）内の最後登録位置削除または位置全削除オプションを選択して手動で削除することができます。
- 追加登録したオービス位置を通過時には、制限速度表示はされません

# ▶ ファイルの再生

1 / 4

## ビデオ再生

録画ファイルは次のように再生します。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル再生**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**ビデオ/駐車モード/緊急録画**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
4. △/▽ボタンを押してビデオファイルを閲覧し、ビデオファイルを選択して◎ボタンを押して**再生モード**に入ります。
5. 録画画面に戻るには◀を繰り返し押します。



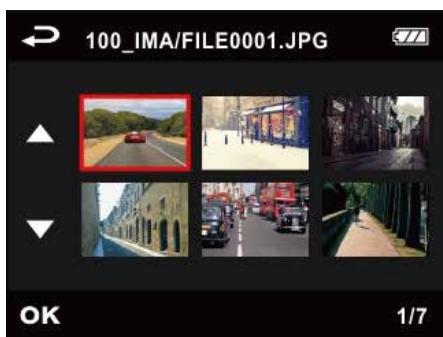
## 画像の表示

画像を表示するには、次のように操作します。

### 1.1.1 画像の表示

画像を表示するには、次のように操作します。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル再生**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**画像**に入り、続いて◎ボタンを押してメニューに入ります。
4. △/▽ボタンを押して画像ファイルを閲覧し、ファイルを選択して◎ボタンを押して**再生モード**に入ります。
5. 録画画面に戻るには ▶を繰り返し押します。



# ▶ ファイルの再生

3 / 4

## 再生画面



番号	アイコン	項目	説明
1	◀	戻るボタン	ビデオまたは画像のプレビュー画面に戻るには ▶ボタンを押します。録画画面に戻るには ▶ボタンを繰り返し押します。
2	▶/▲	早送り / 巻き戻しアイコン	ビデオの早送りまたは巻き戻しステータスを表示します
3	◀/◀	巻き戻し / 前のファイルボタン	ビデオの再生中に △ボタンを押すと再生が巻き戻しされます。△ボタンを押すと前のファイルが表示されます。
4	▶/▷	早送り / 次のファイルボタン	ビデオの再生中に ▽ボタンを押すとビデオ再生が早送りされます。▽ボタンを押すと次のファイルが表示されます。
5	FILE0001.MP4	ファイル名	現在のビデオ / 画像のファイル名を示します。
6	▶/□/□	再生 / 一時停止ボタン	□ボタンを押して録画 / 静止画を再生します。
7	🔋	バッテリーアイコン	バッテリーまたは充電ステータスを表示します。
8	00:10 / 01:00	再生時間 / 合計時間	ビデオの再生時間と合計時間の長さを表示します。
9	1/7	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数。
10	◀	前のファイルボタン	画像の表示中に △ボタンを押すと前のファイルに切り替わります。
11	▷	次のファイルボタン	画像の表示中に ▽ボタンを押すと次のファイルに切り替わります。
12	2017/01/01 12:10	日時表示	録画した日付と時間。

## ファイルの削除

ファイルを削除するには、次の手順に従ってください。

1. □ボタンを押して、設定メニューに入ります。
2. △/▽ボタンを押して**ファイル削除**を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
3. △/▽ボタンを押して**ビデオ/駐車モード/緊急録画/画像**を選択し、続いて◎ボタンを押してメニューに入ります。



### 1つ削除

△/▽ボタンを押して**1つ削除**を選択し、て◎ボタンを押してメニューに入ります。  
△/▽ボタンを押してファイルを閲覧し、削除したいファイルを選択して◎ボタンを押してメニューに入ります。  
△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いて◎/▷ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。



### すべて削除

△/▽ボタンを押して**すべて削除**を選択し、て◎ボタンを押してメニューに入ります。  
△/▽ボタンを押してアイテムを選択し、続いて◎/▷ボタンを押して確定するかあるいは選択をキャンセルします。

4. 録画画面に戻るには<▷を繰り返し押します。

### ⚠ 注意

削除されたファイルは復元できません。削除の前に必ずファイルをバックアップしてください。

# 設定メニュー

## メニューの使用

設定メニューから、各設定をカスタマイズできます。

### メニュー項目



- ボタンを押して、設定メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押してメニュー項目を選択し、続いて◎ボタンを押して機能メニューに入ります。
- △/▽ボタンを押して、値を選択または調整し、◎ボタンを押して設定を確認します。
- ◀ボタンを押して録画画面に戻ります。

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
ファイル再生	表示したいファイルの種類を選択します。	ビデオ/駐車モード/緊急録画/画像	ビデオ
解像度設定	ビデオ録画の解像度設定	1440P / 27.5fps 1080P / 55 fps 1080P / 27.5fps HDR	1440P / 27.5fps

メニュー一覧 1/3

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
日付/時間設定	日付と時間を設定します。	ボタンを押して数値を調整し、ボタンを押してフィールドを切り替え、確定します。	装置をオンにしたあと、手動で設定します。
時間表示	日付スタンプの使用を有効/無効にします。	オン/オフ	オン
音声録音	音声録音の使用を有効/無効にします。	オン/オフ	オン
音量	効果音の使用を有効/無効にします。	音量10~0(オフ)	音量6
LCD設定	ビデオ録画開始後、画面が自動的にオフになる時間を設定します。	オン/30秒後にオフ/3分後にオフ/オフ	オン
録画・録音間隔	各ビデオ録画ファイルの録画・録音間隔を設定します。	1分/3分	1分
明るさ調整	露光値の設定	ボタンを押し、露光値を設定します。+1.0から-1.0の間で設定できます。	+0.0
速度単位	速度表示の単位を選択します。	Km/h / mph	Km/h
衛星ステータス	現在の衛星信号受信状況を表示します。		
衛星同期	衛星の時刻に自動的に同期します。この機能が有効化されると、衛星時間が優先され、時間は手動では変更できません	オン/オフ	オン
不点灯警告	詳細な内容は取説の21ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
居眠り防止案内	詳細な内容は取説の21ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
LDWS	詳細な内容は取説の22ページを参照してください。	オン/オフ	オフ

メニュー項目	説明	設定内容	初期設定
FCWS	詳細な内容は取説の23ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
FCMD	詳細な内容は取説の24ページを参照してください。	オン/オフ	オフ
衝突検出	衝突検出機能の感度およびオフを設定します。	高感度 / 標準感度 / 低感度 / オフ	標準感度
駐車モード	駐車時に車両を監視するモードを設定します。	振動検知 / 動体検知と振動検知 / オフ	オフ
オービス警告	オービス案内の動作設定をします。	オン / オフ	オン
制限速度警告	速度を設定し、その速度を超えるとアラームで警告します。	▲ / ▼ボタンを押し、50km/h ~ 200km/h の間で設定できます。	オフ
オービス追加設定	最大200箇所のオービスカメラ位置を追加できます。カメラ位置削除：新規追加したカメラ位置情報の最後のカメラ位置を削除 / すべてのカメラ位置を削除します。	オービスポイントを追加 / 最後登録位置削除 / 位置全削除	オービスポイントを追加
WDR	高コントラスト、明るさの落差が激しい環境でディテールを良くすることができます。 ※画面が少し粗くなります。	オン / オフ	オフ
フリッカレス	LED信号機のちらつきを抑制します。(西日本 60Hz、東日本 50Hz)	60Hz / 50Hz	60Hz
ファイル削除	ファイルを削除します。	ビデオ / 駐車モード / 緊急録画 / 画像	ビデオ
フォーマット設定	メモリーカードのフォーマット	はい / いいえ	いいえ
初期設定	すべての設定を工場出荷設定値に復元します。	はい / いいえ	いいえ
ファームウエア	現在のファームウエアのバージョンを表示します。		

## ► 再生ソフト(SuperCar)インストール

付属の CD ROM をパソコンの CD ドライブに挿入します。

1. CD が自動的に実行しない場合は、Windows ファイルマネージャーを用いて CD 内の Install\_CD.exe ファイルを実行します。

次の画面が表示されます。



2. 【PCビューアー [Super Car]】をクリックし、画面の指示に従ってインストール処理を開始してください。

# ▶ SuperCar(PCビューアー)

## 各部の名称と機能



番号	項目	番号	項目
1	ビデオプレーヤー 録画ファイル再生時に表示されます。	9	ファイルパス 録画ファイルの入ったフォルダーの保存場所が表示されます。
2	再生/一時停止 録画ファイル再生／一時停止をするときに押します。	10	ファイル検索 録画ファイルを検索します。
3	前へ ひとつ前の録画ファイルを見るときに押します。	11	ファイルリスト メモリーカードに記録されたファイルから「ファイル検索」で選んだファイルが表示されます。
4	次へ ひとつ後の録画ファイルを見るときに押します。	12	ファイル名 選択されたファイル名が表示されます。
5	停止	13	音量
6	Google Map	14	再生時間/録画時間
7	方位計	15	信号雑音比 (SNR)
8	速度計	16	Gセンサー

# ➤ GPSデータの更新について

(ファームウェア)

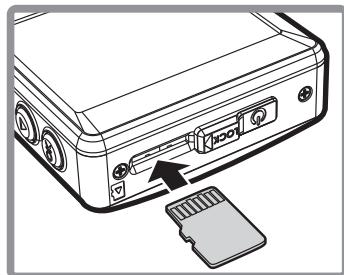
## 更新データダウンロード方法

1. [http://www.j-e-s.co.jp/mirumoeye\\_gps.html](http://www.j-e-s.co.jp/mirumoeye_gps.html) にアクセスします。
2. **MIRUMO eye** DRC310 専用ダウンロードのボタンをクリックすると更新用ファイルがダウンロードされます。

※対応環境についてはサイトの【対応パソコン】の記載をご確認下さい。

## データ更新方法

1. ダウンロードデータをドライブレコーダーの microSD カードにコピーします。
2. microSD カードをメモリースロットに戻し、電源をオンになると「Firmware update」と表示され、自動的に更新されます。 更新終了後は自動的に電源が切れます。
3. 更新終了後、microSD カードを本体から取り外し、microSD カード内のダウンロードデータを PC 上で削除してから、メモリーカードスロットに戻してください。  
※microSD カードにダウンロードデータが残っていると誤動作の原因となります。



### ⚠ 注意

1. 本製品の電源がオンになっている時は、メモリーカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、メモリーカードが損傷することがあります。
2. microSDHC 規格のメモリーカード（最大 32GB）を使用してください。
3. 初めて使用するときは、メニューより「フォーマット設定」（P36『メニュー項目』参照）を選び、マイクロSDカードをフォーマットしてください。
4. メニューより「ファームウェア」（P36『メニュー項目』参照）を選び、ファームウェアのバージョンを確認できます。
5. メモリカードを取り出すときは、メモリーカードが素早く排出されますので、なくさないようにご注意ください。
6. ファームウェアの更新をすると各設定は初期設定に戻ります。ご自身で登録したオービスポイントも消えますのでご注意ください。
7. ファームウェアの更新には、数分程度かかります。必ず電源アダプターから電源が供給されている状態で行ってください。また、更新中は絶対に電源を切らないでください。

# 仕様

項目	説明
イメージセンサー	1/3 インチ CMOS センサー
有効ピクセル数	2688 (H) x 1520 (V) (約 408 万画素)
ストレージメディア	Class10 以上の micro SDHC 16GB ~ 32GB までサポート
LCD ディスプレイ	2.31 インチ TFT カラーモニター
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F1.8、f=2.94mm
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限
録画解像度	解像度：1440P/27.5fps、1080P/55fps、 1080P/27.5fps HDR 形式：MP4
G センサー	3 軸 G フォース センサー
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
マイクロフォン	あり
スピーカー	1.0W
インターフェイス	Micro SDHC
バッテリー	内蔵 470mAh 充電可能リチウムポリマー
寸法	57 x 30 x 58 mm
重量	約 75g (メモリカード含まず)

*Japan Electric Service*



**株式会社日本電機サービス**  
**INB マーケティング本部**  
〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井31-3  
<http://www.j-e-s.co.jp>